



春を招くチューリップ
県野菜花き試験場のハイドロ
カルチャー品質改良試験

あなたのふるさと

— 宇奈月・真冬の楽しみ
雪のカーニバル —



雪に埋まった温泉街

二月、宇奈月はスキーの最盛期です。深い雪に埋もれた温泉街は、若者や親子連れの人々を迎えて活気づきます。
克雪・無雪害の町に挑戦する宇奈月町では、温泉廃水の余熱を

利用した融雪装置が、今冬一部完成しました。その効果が発揮されて、黒いアスファルトの上を人々が元気に行き交っています。さて冬の呼びもの、「雪のカーニバル」は、毎年二月の第一土曜日に開催されます。昭和二十四年、町民が各々の家の前に雪像を作ることから始まりました。雪像は、アトム、パンダ、ドラエモンと、時代の世相を反映してきました。今年はどうな雪像が作られるか、楽しみです。

スキー場では、チビッコスキー大会やスラローム宝さがし大会等が行われ、冬ならではの楽しみがくりひろげられます。夜ともなると、あかあかとタイマツがともされ、手に手にタイマツを持ったスキークラブの児童や若者たちが、大原山を滑降します。その様は暗い雪山を流れる光の河のようで、見物客は感激にどよめきます。さて町には、



タイマツを持って集まる人々
行事、素晴らしいと思いませんか。二月第一土曜日の夜です。冬の、町をあげての祭典にあな

中学生のブラスバンドを先頭に、左義長の行われる広場へと向う人々の列があります。この時、闇夜に八十発もの花火が次々と打ち上げられ、空と地上は祭のクライマックスを迎えます。



花火が祭のクライマックス

してほしいものです。この雪のカーニバルが終ると春の足音を身近に感じるようになります。残り少なくなった冬を楽しくすごしましょう。

今月は、大沢野町の清水巖さんから原稿を、宇奈月町の松垣照人さんから写真をいただきました。

このコーナーでは、読者のみなさんのふるさとを紹介した写真と原稿をおまちしています。
● 送付先 〒330 富山市新総曲輪一番七号 県広報課「あなたのふるさと わたしのふるさと」係

二十一世紀は、脳科学で

富山医科薬科大学教授 小野武年さん



「遺伝子工学を利用したバイオテクノロジーでは、もう遅いんです。これからは、脳科学の時代です。」

小野教授は、脳生理学の世界的権威。脳科学は、医学、コンピュータ、薬物、心理、感性と幅広く奥深い分野をもっています。人類百万年の歴史をふまえ、これからの人間はどうあるべきかを考えながら取り組みれば、脳科学は新しい文化をも拓いていけると教授は言います。

脳のしくみを解明すれば、人間の心をもつロボットや脳の老化を防ぐ方法も開発できるそうです。ところで九州に育ち、長い海外経験を持つ教授の目から見ても、富山はとても素晴らしいところ。

「自然に恵まれ、県民は教育熱心。研究がとてもしやすい環境です。それに高等教育機関、生涯教育部門、産業界、行政が一体となって創造性を育てようとしています。」

その素晴らしい富山県を日本一の科学と文化の県にするために、教授は力をつくしたいと言います。

二十一世紀の富山を拓く、可能性あふれる脳科学、指導者としての小野教授に大いに期待したいと思います。

2月号	クローズアップ	TOYAMA JUST NOW
●	21世紀は脳科学で	富山土人形 お雛さま
も	かしこさとゆたかさをみんなで	昭和59年度県政世論調査報告から
く	2メートルの積雪でも大丈夫	くらしの情報コーナー
じ	年間で豊かな老後を	トピックス
	雪の中の交通安全	お知らせ
	生きがいをボランティア活動に	特産王国とやま 庄川挽物木地
		表3

県消費生活センター新装オープン



ハンディトを
取れば
ロボットが
しゃべります

かしこさとゆたかさを みんなまで

県消費生活センターは、昭和四十六年に県民会館内に開設されて以来、啓発、展示、相談、試験の各分野にわたって県民の皆さんに親しまれてきました。

しかし最近、クレジットの普及、訪問販売や通信販売など販売方法の多様化、新しい商品の出現など、私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変化し、センターにも、生活環境の変化にふさわしい新しい機能が期待されるようになってきました。

そこで施設、機能の大幅な拡充を図って、このたび装いも新たに富山市安住町第一生命ビルの二階、三階にオープンいたしました。

生活情報を直に 提供いたします

音声で買物時の注意事項などを
教えてくれます。

情報の店OアンドAは、マイ

ふれあい
展示コーナー

消費生活センターの二階入口
であなたをお迎えるのは、お
しゃべりロボットです。二台の
ロボットがかけ合いで、映像と

コンを活用して、衣食住、生活
管理、生活安全に関する五十項
目の情報を提供しています。ポ
タン操作でお選びください。あ
なたの必要な情報が、プリン
トで打ち出されてきます。

▲おしゃべりロボットが出迎えます。

◀ミーティングルームで
加工食品を調べます。



◀商品展示も豊富です。

さていろいろな商品も展示
しました。ステンレス鍋、ダウン
コートなど最近普及してきた商
品を実際に手に取って見ていた
だくとともに、購入や使用の際
知っておくと便利な商品知識も
併せて表示しています。ここで
は、商品テストの結果や品質表
示、単位価格表示などについて
も、具体的に学ぶことができます。

くつろぎながら 情報交換を

ミーティング ルーム

グループでお出でになった場
合など、くつろぎながら生活情
報の交換ができる空間を設けま
した。畳敷きの和風リビングル
ームとダイニングキッチンの中
のミーティングルームです。





◀自分でテストしてみよう。

自分で商品テスト してみませんか

テスト室
セルフテストギャラリー

三階フロアは、商品テストと
研修の空間になっています。
いろいろな商品の品質情報の
提供や、県民の皆さんからの苦



▲気軽にご相談ください

はき物をぬいで、ゆっくりご利用
ください。ダイニングキッチン
は、実際に新しい調理器具を
使ってみたり、加工食品を調理
したりという利用もできます。
なお遊びながら親子で商品知

識が学べる子供コーナーもあり
ます。家族ぐるみでお出でくだ
さい。
**消費生活についての
悩みごとはこちらへ**

相談コーナー

訪問販売で買った商品を返し
たい、クリーニングで衣類が痛
んだなどという相談や苦情が、
年々増えてきています。その内
容も、複雑多様化しています。

このような相談にす早くアド
バイスできるように、消費生活
相談コーナーに豊富な生活情報
を蓄積したパーソナルコンピュ
ータを導入するとともに、気楽
に相談していただけるようゆと
りある空間を確保しました。特
に秘密を要する相談などのため
に、個別面談室を設けましたの
で、安心してご相談ください。
また**消費者金融相談コーナー**
では、サラ金の返済、調定、整
理など、消費者金融に関するト
ラブル解決のお手伝いをしてい
ます。早目にご相談ください。

みんなで かしい消費者に

研修室

情の原因をさぐるためのテスト
を行っています。
また消費者の皆さんが、自ら
「見て」「たしかめる」セルフ
テストギャラリーもあります。
食品中の塩分や糖分の含有量
など簡単な機械操作で調べるこ
とができます。あなたも味噌汁
の塩分などを調べてみませんか。

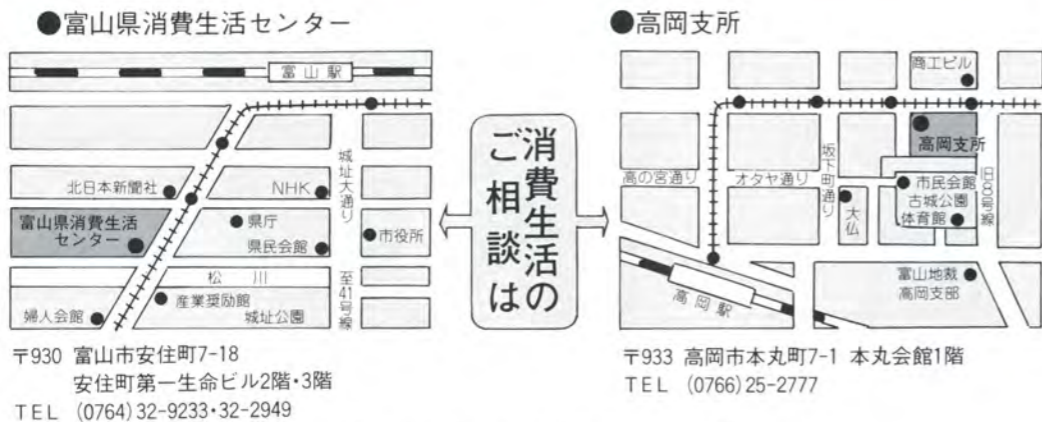
テスト室に隣接して研修室が
あります。くらしの一日教室や
消費生活講座などを、県内外の
講師を迎えて行っています。
ひとりの小さな問題も、みん
なで考え、解決していきたいと
考えています。消費生活センタ
ーは、暮らしの情報のコミュニ
ティセンターです。ちょっとコ
ーヒーブレイク、そんな気軽さ
でお立ち寄りください。

なお高岡にもセンターの支所
があります。こちらもどうぞご
利用ください。

*くらしの1日教室(2月の予定)

2月12日(火)13:30~15:30	食品の包装と食品保存	富山女子短期大学 教授 盛永宏太郎	高岡市本丸会館503号室 ☎0766-25-2777
2月20日(水)13:30~15:30	くらしとコンピューター	富山コンピューター専門学校 中山孝則	県消費生活センター研修室 ☎0764-32-2949

県消費生活センターは、移転して装いも新しくなりました。



●受付時間 平日 午前8時30分~午後5時
土曜日 午前8時30分~正午

■相談の受付状況

年	区分	一般(問合せ)		計	1ヶ月平均
		件	件		
58年	年	2,321	1,136	3,457	288.1
59年	年	2,109	1,338	3,447	287.3
	対前年比	90.9%	117.8%	99.7%	—%

年	区分	新規	再度	計	1ヶ月平均
		件	件		
58年	年 (8月~12月)	812	386	1,198	239.6
59年	年 (1月~12月)	850	949	1,799	149.9
	対前年比	104.7%	245.9%	150.2%	62.6%

■訪問販売に関する相談状況

年	区分	商品・サービス別										計	訪販 相談 件数
		消火器	英会話 教材	ステン レス鍋	商品取引	学習教材	自販機	印 鑑	健康食品	学習添削	その他		
58年	年	164 (47)	93 (55)	29 (9)	118 (17)	134 (59)	51 (23)	75 (22)	39 (12)	56 (20)	375 (201)	1,134 (465)	32.8
59年	年	270 (171)	194 (137)	168 (39)	130 (85)	115 (44)	53 (23)	38 (9)	39 (10)	21 (5)	405 (185)	1,433 (708)	41.6
	対前年比	164.6%	208.6%	579.3%	110.2%	85.8%	103.9%	50.7%	100.0%	37.5%	108.0%	126.4%	—

()内は苦情相談で内数

年金で豊かな老後を

我が国は、世界でも有数の長寿国になりました。そして高齢化社会の進行と核家族化の進展に伴って、扶養意識も変化してきています。長い老後の生活の全てを子の扶養にたよったり、個人の貯蓄でまかなうには限界があります。

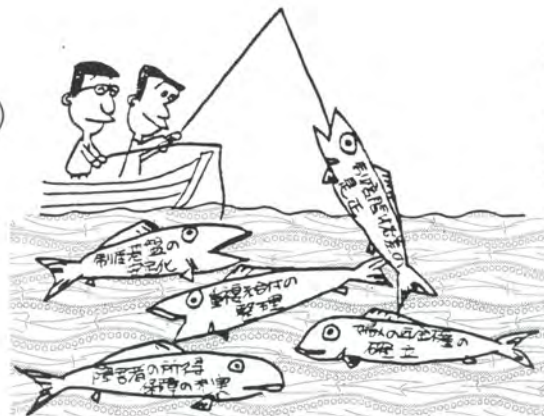
公的年金は、このような老後の生活の不安に備え、豊かな生活をすごすために作られた制度です。国が責任をもって管理、運営をしていますから、皆さんの将来の安定した生活を保障する、最も安全で確実な制度といえましょう。

公的年金制度とは

公的年金は現在、国民年金、厚生年金、共済組合年金など七つの制度にわかれていて、その人の職業によって加入する制度が決まっています。なお国民年金は20歳以上60歳未満の人で、他の公的年金制度に加入していない人が加入できる制度です。

制度が改正されます

今回、改正されようとしている年金制度は、各制度共通の「基礎年金」を導入して全国民共通の年金制度を作ろうとするものです。現行の制度をそのまま引き



基礎年金構想がめざすもの……。

継いで新制度に組み入れられますから、改正後も過去の加入期間は新制度にそのままつながり、将来の年金計算の基礎となります。

安心して加入しましょう

さて公的年金制度は、定期的に給付水準の見直しを行い、また物価スライド制も取り入れて受給者の生活の安定を図っています。さらに今後の財政状況を見通して制度の運営を行うことになっていますから、将来とも安心できます。

あなたの老後は、大丈夫でしょうか。年金は、長い期間をかけて積み重ねていくものです。途中下車をしないで、確実に将来に備えてください。

出かけるときは、エンジンを暖めてからにしましょう。

〈「急」のつく操作は避けましょう〉

積雪や凍結のある道路は、「滑る」ということを絶対に忘れないでください。急ハンドル、急ブレーキはスリップの元です。思わぬ方向に車が進み、対向車と衝突したり、路外に転落するなど、大きな事故になります。

「急」な操作をしなくてもよい「ゆとり」のある運転を心がけましょう。

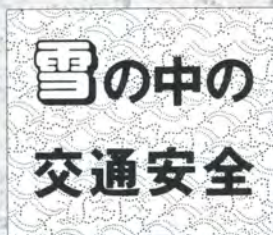
〈スノータイヤなどの装着を

励行しましょう〉

スノータイヤなどの滑り止め装置を必ず装着しましょう。圧雪、凍結時はスノータイヤだけでは効果がないこともあります。路面の状況に応じて、タイヤチェーンをつけるようにしましょう。

〈十分な車間距離を保ちましょう〉

降雪期に最も多く発生する事故は「追突」です。積雪や凍結のある道路では、制動距離はふだんの三倍にもなります。十分な車間距離を保って、事故防止に努めましょう。



冬の期間は、積雪や凍結によって自動車はスリップしやすくなります。吹雪などで視界が悪くなることもあります。また歩道が雪で埋まってしまうため歩行者が車道を歩くことになり、危険が増加します。

ドライバーの皆さんは、次のことを守って無事故に努めましょう。

〈車の点検整備を励行しましょう〉

あなたは、自分の足となる愛車を可愛がっていますか。車の点検を怠ったために、大きな事故を起こした例もあります。特に冬は、気温の急激な変化によって、エンジントラブルなどの故障が起きやすくなります。

車を運転するときは、エンジンオイル、バッテリー、ラジエータなどについても、よく点検しましょう。もの言わぬ車のドクターはあなた自身です。

〈アイドリングを十分行いましょう〉

エンジンをかけて直ぐ発進という人はいませんか。エンジンが冷えているのに車を運転しますと、エンストを起こして交通渋滞の原因になるばかりか、後続車がスリップして追突事故などを招くこともあり

冬でも強く、快適で、使い易い住宅を

2メートルの積雪でも大丈夫

富山の民家は、伝統的な建築技術と雪おろしの習慣に支えられて、一定の耐雪性能をもってきました。

しかし、近年の生活様式と建築様式の変化に伴って、無雪期と同じように安全で快適な生活のできる家づくりが、大きな課題となっています。

特に五六豪雪時、県内で千二百戸以上の住宅が雪によって被害をうけ、またほとんどの家で三回以上の雪おろしを行っています。

このことから県では、総合雪対策研究会の提言を受け、昭和五十七年から「雪に強い住宅づくり研究調査」を行ってきました。

まず既存住宅の実態を調査し、県民の生活実態や富山の雪に応じた方策、合理的な屋根雪処理法、断熱や防湿工法等を検討した上で二層の積雪にも耐える設計のモデル住宅二棟を建設して実験検証を行いました。

折りしも五九豪雪に遭遇し、想定した機能を十分に発揮して「雪に強い住宅」であることを実証しました。

この程、県ではその成果をまとめた報告書とわかりやすいパンフレットを作成しました。皆さんのこれからの住宅づくりの参考書として、十分ご活用ください。

〈問い合わせ先〉〒930富山市新総曲輪一の七

県庁建築住宅課建築指導係

(☎0764314111 内線六六七)



富山市月岡にあるモデル住宅の一つ

参考書としてご活用ください。

雪に強い住宅づくりのために

生きがいを ボランティア活動に



▲マーン園生の買物を介助(井波町)

「黒部学園にて」富山市 堀愛子 「万葉苑にて」新湊市 金川勲子
サルビアに埋もれて子等の
手振り
白杖を目で追いかける葉鶏頭
紙芝居 手品をのせて稲の原
小春日やシート取替え老婆抱く
車椅子ならべて昼餉 冬ぬくし

婦人ボランティア活動は、婦人が自発的に社会の進展や人々の幸福のために、その能力や技術等を提供し、これによって自らの人間性を高める活動です。
温かい心に満ちた美しいふるさとづくりのために、婦人が、自発性、無償性、公共性の考えのもとに、ボランティア活動に取り組みことは、婦人の社会参加の新しい分野といえます。
富山県では、昭和五十一年から「婦人ボランティア活動」事業を市町村単位で開設して、ボランティア実践家の養成と確保に努めてきました。

現在は講座の修了者も含めて約六千人にのぼる婦人達が、ボランティアを心の糧とし、着実な活動を展開しています。
今後、ますます大きく、力強い輪となって、心のふれあう地域づくりのためにつくすことが期待されます。



▲親子で公園をきれいに(立山町)

▼ふるさとの文化財を守るために(婦中町)



◀眼の不自由な人のために朗読奉仕(庄川町)

「ボランティア活動の中で」

庄川町 堀 静枝

「お世話をかけて」と丸い背のお年寄り
その遠慮がちな言葉の中に
どの人にも どの人にも
一生かけて磨きぬいた光りがある
はっとする知恵のひらめきがある
人のため町のためと気負って始めた
ボランティア活動であったが
私の得たものは大きい
さいたわずかな時間よりも
はるかに はるかに大きい
私は気づいた
当り前の中にある喜びがわかり
自分の生き方を自分に問いかける
自分自身を深める大切な活動であることに



▲子供フェスティバルで人形劇を披露(富山市)



▲平和のために戦争体験を綴る(福光町)



富山土人形 お雛さま

節分をすぎると寒さも徐々にゆるみ始め、遠くから春の足音も聞こえてきます。

富山市四ツ葉町の渡辺信秀さんの仕事場は、一足早く春の色であふれています。土人形のお雛さまの製作で、大わらわなのです。

今から百四十年程前、第十代富山藩主前田利保公が、お抱えの陶器師、広瀬秀信・安次郎父子に天神臥牛像を焼かせました。これが、富山土人形の始まりだといわれています。

子供の幸せを願う天神像や内裏雛、縁起物がたくさん作られ、藩内はもとより、北陸一円や飛騨方面まで背負って売り歩いたといえます。

土人形作りは、一年がかりの手仕事です。原料の粘土は小杉町から取り寄せています。夏の間は成型して天日に干し、十月にまとめ

て素焼きします。仕上げの色付けは冬から春にかけての仕事です。極彩色の意匠は、明治の頃のまま、昔を留めた素朴さが、逆に新鮮さを感じさせるのでしょうか、テレビや雑誌を通じてたびたび全国にも紹介されるようになりました。今や各地の民芸品店から注文が来いています。

しかし土人形の技術を残しているのは渡辺さん唯一人となり、作られる数にも限度があります。そこで伝統を受継ぐ後継者を育成しようとして、昭和五十八年度から富山市が助成して講習会を開いています。三十代の主婦を中心に十数人の女性たちが、渡辺さんの指導の下に、土人形に取り組んでいるところです。

人形作りの最後は、顔に目や鼻を描き入れること。渡辺さんの筆先から、愛らしい笑顔が生まれます。



昭和59年度 県政世論調査報告から

期待しています あなたの参加

調査の方法

調査は十五項目について行いました。(別表1を参照ください。)

調査の対象者は、富山県内に在住の満二十歳から七十九歳までの皆さんの中から、千二百名

を無作為に選んでいます。調査は昨年の八月に、調査員が直接対象者のお宅にうかがって面接して行いました。

なお回答は、千十四名の方からいただいております。回収率は八四・五％となっております。

県では、県民の皆さんの県政に対する関心や要望等を把握するため、毎年世論調査を実施しています。今年度も八月に調査を実施しましたが、この程その結果がまとまりましたので、一部についてご紹介してみましよう。

(1) 国際交流	(9) 特色ある学校づくり
(2) 献血	(10) 教育環境
(3) まちづくり	(11) 警察
(4) 花と緑	(12) 地域開発
(5) 婦人の地位	(13) 施策の認識
(6) 身近な自然	(14) 広報・公聴
(7) 教育内容	(15) 県政への要望
(8) 高校入学者の選抜方法	

調査の設計

- (1) 調査地域 富山県全域
- (2) 調査対象 満20歳以上満79歳迄の男女
- (3) 標本数 1,200
- (4) 抽出方法 層化副次無作為抽出法
- (5) 調査期間 昭和59年8月6日～8月20日
- (6) 調査方法 調査員による個別面接調査

国際交流への期待

国際交流事業は、どんなものがよいでしょうか

「スポーツ親善試合」が最も多く四五・二％、次いで「音楽、演劇、芸能祭等」「技術協力」「物産展」が三割台を示しています。

「スポーツ」交流は、男女を問わず多くなっていますが、年代別では、若い年代程多くなっています。

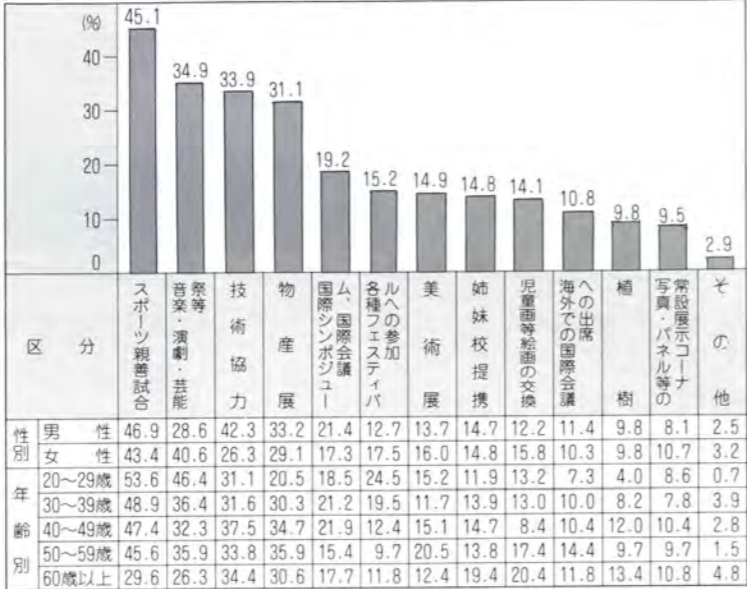
なお男性は技術や経済の交流に、女性は文化交流に関心が高いといえます。(図1)

外国との友好提携の意義は、どこにありますか。

「国際平和の促進」四六・一％、「相互理解」三九・三％、「国際親善」三三・九％などとなっています。

特に女性や若い年代が「平和」を、男性や年齢の高い層が「相互理解」をあげる傾向があります。

図1 望ましい国際交流事業 (%)



友好提携をするとしたら、相手国はどこがよいですか。

「中国」四六・二％、「アメリカ」三六・二％、「ソ連」一一・三％、

「韓国」八・四％となっていますが、「わからない」方も三四・八％と多くなっています。特に女性の四六・二％、二十歳

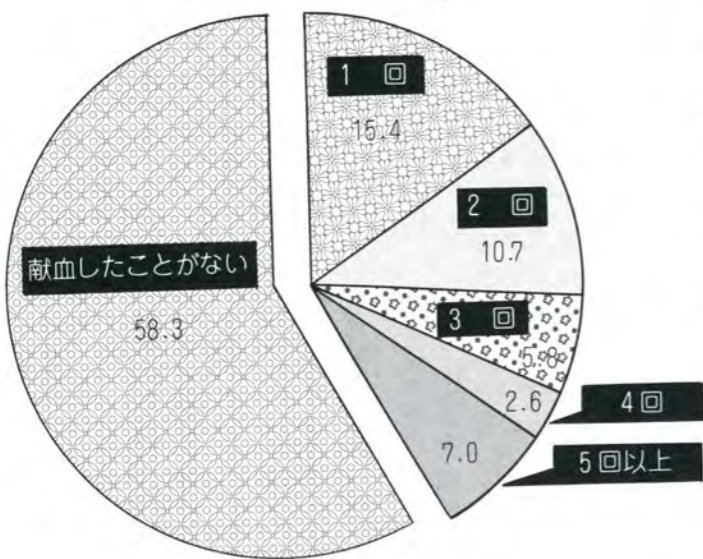
助け合いの心で献血を

献血をしたことがありますか

「したことがない」五八・三％、「一回」「二回」「三回」「四回」「七回以上」七％などとなっています。(図2)

とがありません。特に女性に多く、六六・五％の方が「したことがない」と答えています。「したことがない」理由は、女性の場合は「健康に自信がない」「比重不足」「身体の具合が悪い」を併せると五二・一％となり、健康でないと考えている人が多いようです。若い年代や男性の場合は、「なんとなく」していない人が多くなっています。

図2 献血の状況 (%)



献血の動機は、なんですか。

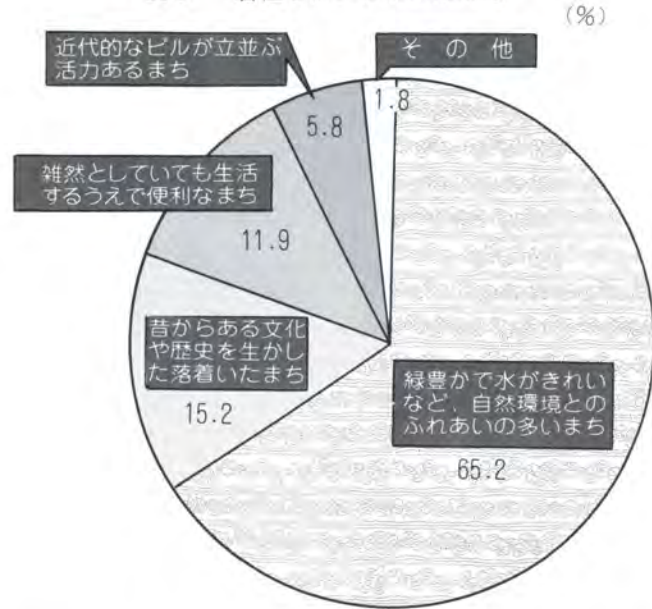
「助け合いが大切」三二・八％
 「自分もうける立場になるかも知れないから」二九・九％となっており、相互協力の気持ちからする人が多くなっています。
 血液は人工的には造れません。健康管理に注意して病気になるないようにすることはもちろん、助け合いの気持ちから健康な血液を困っている人のために提供することも大切です。
 皆さんの献血に対する一層の協力をお願いします。

参加できるまちづくりプランを

「どんなまちに住みたいですか。」

「緑豊かで水がきれいななど、自然環境とのふれあいの多いまち」六五・二％は、「昔からある文化や歴史を生かした落ち着いたまち」一五・二％は、「雑然としていても生活するうえで便利なまち」一一・九％は、「近代的なビルが立並ぶ活力あるまち」五・八％

図3 居住したいまちの都市像 (%)



となっています。つまり都会的なまちではなく、自然の多いうらおいのあるまちが、県民の理想のまちです。(図3)

「あなたの住まいのまわりは、自然に恵まれていますか。」

「非常に恵まれている」一六・四％、「どちらかといえば恵まれている」五五・六％となっており、

富山県は身近な所にも自然が多いと、県民の皆さんが評価していることがわかります。

このことから、これからも自然環境の保全に努めながら、積極的に緑や水を取り入れたまちづくりの推進が必要だと考えられます。



気軽に利用できる施設を整備しています

「動・植物園」二二・六％は、「音楽ホール」二二・五％は、「カルチャーセンター」二〇％は、その他演劇ホール「科学館」「博物館」「天文台」「図書館」「遺跡公園」などとなっています。

文化施設で不足しているものは、何でしょうか。

今年度、県が重点的に進めている施策について尋ねてみました。周知度の最も高かったのが「北陸新幹線」七七・一％で、次いで「テクノポリス」五三・二％、「雪に強い県づくり」五二・八％、「花と緑の県づくり」四一・八％などとなっています。

県の施策、ご存知ですか

また県民の皆さんの気軽な利用のために県が設置している各施設についても、お尋ねしました。最も知られているのは「県民公園大間山ランド」七一・五％、次いで「近代美術館」六四・三％、「ゴンドラスキー場」六三・七％、「頼成の森」五五・二％などとなっています。

「頼成の森」五五・二％などとなっています。一般の方に利用していただきたい施設で周知度が低いものもあり、もっとPRの必要があると思われます。

県政への要望

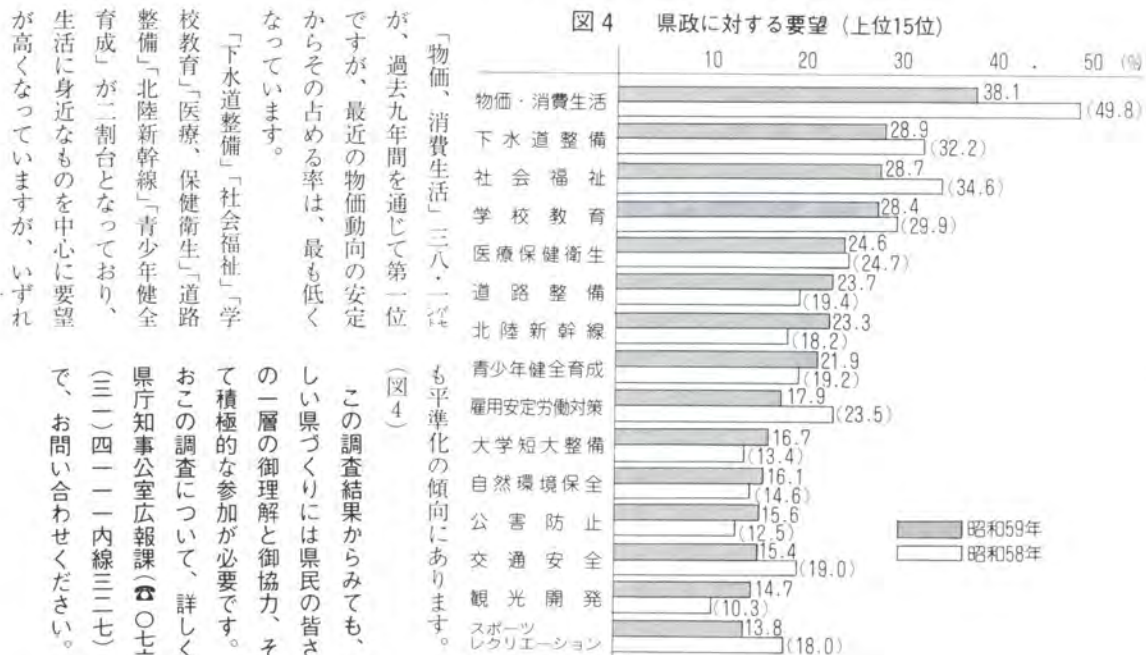


図4 県政に対する要望 (上位15位)

「物産、消費生活」三八・一％が、過去九年間を通じて第一位ですが、最近の物産動向の安定からその占める率は、最も低くなっています。

この調査結果からみても、新しい県づくりにには県民の皆さんの一層の御理解と御協力、そして積極的な参加が必要です。なおこの調査について、詳しくは県庁知事公室広報課 ☎〇七六四(三二)四一一(内線三二七)まで、お問い合わせください。

「県民、特に若い人々の意見を反映させる」四七・二％は、「アイデアを県民から募集」四五・二％、「情報誌、PR誌の発行」二七・八％、「まちづくり教育を」二五・九％、「講演会などの実施」二〇・六％となっています。

スポーツ、レジャー、文化、多様化するニーズ

「宿泊保養施設」三五・五％は、「遊園地」二五・六％は、「テニスコート」二〇・二％は、その他、「プール」「キャンプ場」「サイクリングロード」「野球場」「ゲートボール



行政と住民が協力してまちづくり

に、強い関心のあることがわかります。

健康メモ

ひとくち

このくらしの情報コーナーでは、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。原稿の送り先は、一九三〇 富士市新松曲輪一番七号 富士県知事公室広報課、くらしの情報コーナー 係まで

カゼ

冬にはカゼをひく人がふえますがカゼには普通のカゼとインフルエンザがあります。どちらもウイルスが原因で、発熱、くしゃみ、咳などの症状があります。ただし、インフルエンザは、流行の時期があり、症状も全身に及び、気管支炎や肺炎などを併発して、子供やお年寄りなど体力のない人には危険な病気です。

ところで、カゼのウイルスは空気中にもいつも浮遊していますが、発病するには条件があります。寒さや過労などで身体の抵抗力が低下したときです。ウイルスに感染しても発病しない身体をつくるのが大切なのです。

- 休養、睡眠は十分に
 - うがいの励行
 - たばこの吸い過ぎ、酒の飲み過ぎは禁物
 - 湯ざめや発汗後の冷えをなくし、衣服による保温も工夫
 - 空気の乾燥を防ぐため、暖房中は加湿を工夫
 - 胃腸を整え、抵抗力の低下を予防
 - 適度な運動で、呼吸器管を鍛練
- またインフルエンザには予防注射があります。

それでもカゼをひいてしまったときは、なんとといっても、安静、保温、栄養です。カゼの特効薬はありません。普通使われているのは、カゼのいろいろな症状（発熱、咳、痰、頭痛、鼻水、痛みなど）をおさえ、苦痛をやわらげる薬です。薬や注射を使っても、安静、保温、栄養を守らなければ、回復は長びきますし、ぶり返すことにもなります。

ベニズワイガニ

富山湾の冬の味覚の一つ。越前ガニや松葉ガニと呼ばれるズワイガニの仲間、やや小ぶりの朱赤色のカニです。

水深数百尺から三千尺の深海に生息していて、明治三十九年にアメリカの生物学者ラスパン女史によって正式に確認されました。本格的に漁獲されるようになったのは、昭和十六年に県の水産試験場が富山湾で試験操業に成功してからです。

とやま旬の味

ベニズワイガニ漁は期間を定めて行われます。それは親ガニになるまでに七、八年、産卵は二年に一回と繁殖に時間がかかるためです。漁期間の指定の他に、湾内でのメス捕獲禁止など全国で最も厳しい制限を設けています。

ところで普通は、オスをベニズワイガニ、メスをセイコガニとかマンジュウガニと呼んでいます。これはメスがオスに比べて極端に小さく、



また形も違っていているため、全く別の種類に見えるからです。

獲りたてのカニをゆでると鮮やかな赤色になりますが、それをそのまま食べるのが最高です。酢物、フライ、蒸し物、カニ玉などいろいろ利用できます。特に左党には、カニ味噌がこたえられない味ではないでしょうか。甲らの部分の肝臓臓をカニコーゲンや脂肪分が豊富で、酒のさかなにもってこいです。

黒部 阿古屋野窯

「良い土で、静かにゆっくりと作陶したい。」と、焼物の町瀬戸から移り住み、黒部の土と取り組んで十年になる陶芸家の寺田美山さん。

昭和五十年に黒部市阿古屋野地区の傾斜地にのぼり窯と穴窯を築いて制作活動を始め、最近では年の三分の二をこの地で暮らすようになりました。地元陶芸愛好家の作陶指導も積極的に進め、市民との交流にも努めています。

まちからむらから



寺田さんは、日展などに何度も入選し、また県の技能検定ろくろ部門検定委員も務めるなど、その技能は高い評価を受けています。年に二回の窯出しで、茶器、花器、飾りつぼなど数多くの作品が生み出されますが、洪みのある素材でやわらかい色合いの独特の作品は、専門家の間でも評判です。

昨年、カーター前米大統領が来市された際にも、市からのプレゼン

トとして寺田さんの茶道具一式が選ばれました。とりわけ白慢できる特色ある工芸品のなかった黒部市にとって、芸術の香り高い寺田さんの作品は、市の誇りでありシンボリック存在になっています。

築窯十年目の昨年、近在の陶芸家を中心となって後援会も結成され、あわせて市内で初めて個展も開かれました。「阿古屋野窯」が、黒部市民の間に根着いて、愛されてきたといえましょう。

これからはますます「阿古屋野窯」の作品が、市内外の人々に親しまれ、暮らしの中に溶け込んでいくことが期待されます。

暮らしのメモ

ひとくち

健康食品とは

健康への関心が高まる中で、健康食品と呼ばれるものへの関心が高まっています。

しかし、健康食品という名称は業者がつけたもので、定義はありません。ローヤルゼリー、クロレラ、深海鮫エキス、高麗ニンジンなどの滋養食品。小麦胚芽油製品、貝殻、牛骨粉など食事のバランスがくずれている人の食生活を補う目的で売られている栄養補助型食品。その他自然を売りものにして売られているもの。各種の減塩、低糖、低コレステロール製品など健康志向型食品などいろいろあります。

健康食品に何を期待したか

昨年5月に県内で実施したアンケート

ー卜の結果によると、健康食品を利用したと答えた人達が利用した理由として「健康の維持増進によいと思った」「疲労回復によいと思った」「栄養の補給調節によいと思った」等とされています。

特定の病気治療を期待した人は少なかつたものの、健康であることへの期待感が出ています。

健康食品は薬ではない

カプセル剤、錠剤などの外見からでは薬と区別がつかない健康食品も多く、「〇〇病によく効く」などと販売されたりすることもあるが、期待する人もありますが、「医薬品」は薬事法により規制されており、健康食品を医薬品の効能をうたうたって売るとは禁じられています。

健康食品に過度の期待は禁物

健康や食生活に不安があるとき、つい健康食品に手が出してしまいますが、病気を防いだり、健康を保つうえで基本になるのは、バランスのとれた食生活と適度な運動、休養であることを忘れないよう注意しましょう。

くらしの情報 No. 1000

12月16日～1月15日

12月17日

☒受精卵移植で

畜産界に活力を

大沢野町にある県畜産試験場で受精卵移植による双子の牛が誕生しました。

和牛の受精卵を乳牛に移植したもので、異種間移植による双子の出産は、全国で三番目です。

子牛は両方とも雌で、体重は約30キログラム、中沖知事が富山県置県百年にちなみ、また21世紀に向けて活力ある畜産業の発展の願いをこめて、「富栄」「百栄」と命名しました。

12月17日～21日

☒物価Gメン 年末物価を監視

年末年始は、生活必需物資の需給や価格の変動の激しい時期ですが、県民生活安定対策本部では石油製品や正月用食料品などの価格を調査しました。これは、毎月行っている生活必需物資の価格動向及び需給状況調査とは別に、年末年始の物価対策の一環として特別に実施したものです。

なお、12月上旬に比べて石油製品

は、やや値下がり、食料品はほぼ安定という結果ができました。

12月18日

☒福光の本多さんに

環境庁長官賞

昭和60年度愛鳥週間ポスター原画コンクールに富山県から応募した本多清美さん(福光町立吉江中学3年)と上井朋子さん(富山第一高等学校2年)が、それぞれ環境庁長官賞(第1席)と文部大臣賞(第2席)を受賞しましたが、この日、県生活環境部長から2人に表彰状が伝達されました。



▲おめでとう本多さん

12月19日

☒積極的に情報教育を

これからの情報教育の存り方について検討を続けている県情報教育研究協議会から、県と県教育委員会に対して中間報告書が提出されました。

一般県民に対する情報教育のあり方、学校における情報処理教育の推進などについて報告がされています。

▼年末の物価に目をひかせます。



12月29日

☒北陸新幹線、着工へ

県民の長年の夢であった北陸新幹線が、いよいよ昭和60年8月に着工するはこびとなりました。年末も押し寄せたこの日、臨時閣議で政府案として決定したもので、建設費として50億円が、新年度予算案に計上されます。

県では残された多くの問題の解決にこれから努力して参ります。



◀高校生海外派遣団結団式で。

12月21日～1月5日

☒高校生海外派遣

第2回富山県高等学校生徒等海外派遣団が、12月21日富山を出発しました。一行23名は、イギリス、フランス、イタリアの欧州3カ国を訪問し、現地の高校生との交歓、ホームステイ等を通して生の国際文化に触れるとともに、国際親善を深めて1月5日、帰県しました。(詳しくは3月号をご覧ください。)

12月22日～30日

☒いきいき富山'84 写真展示会

美しい自然、情緒豊かな祭、新鮮な山海の味覚など、富山県の魅力や観光資源を題材とした「いきいき富山」写真コンテストの入選作が決まりました。

知事賞には石川県の寺西正人さんの「高岡獅子舞大競演会」が、観光キャンペーン実施協議会長賞には砺波市の岩滝博さんの「もちつき太鼓」が選ばれました。

また、富山市内のデパートで入選作品を集めての展示会が開かれ、訪れた人々の目を楽しませました。



▲多くの子供たちが訪れました。

1月5日～31日

☒わたしたちの壁画'85展

県立近代美術館では、今年も年頭を飾って、子供の手による「わたしたちの壁画'85」展が開かれました。

今年の出品校は、小中学校等30校。子供たちの楽しい思い出や夢が、大きな画面一杯に描かれ、楽しい展覧

会となりました。

1月6日～9日

☒オーストラリア

青年代表団来県

昨年の県青年の翼の相互交流事業として、オーストラリアのビクトリア州青年代表団が来県しました。

ジョン・フック団長他17名の団員は、青年の翼団員宅でのホームステイや県内視察、高校生との意見交換を行って、相互理解を深めました。

またビクトリア州マートルフォードと新湊の小学校児童の絵の交換も行われ、幅広い国際交流が実現しつつあります。

▼各地で若者らしく、国際交流をしました。



1月15日

☒おめでとう、新成人

各地で新成人を祝う集いが、開かれました。昭和59年1月16日からの1年間に満20歳を迎えた新成人は、男子6,871人、女子7,120人の合計13,991人(昭和59年12月14日現在)でした。

今年は国際青年年にもあたり、21世紀を担う社会の一員としての一層の活躍が期待されています。

お知らせ

●県営住宅の入居者募集

- 次のとおり、入居者の募集を行います。
- (1)募集内容
- ⑦新築の住宅 下富居団地(富山市)48戸
 - ⑧改善の住宅(2戸を1戸に改善)
 - 太閤山団地(小杉町)36戸
 - ⑨既存の住宅 富山、高岡、新湊及び太閤山の各団地の空家分
- (2)申込受付期間 昭和60年2月15日～2月28日
- (3)申込受付場所及びお問い合わせ先
- ・富山県住宅供給公社 ☎0764(32)5131
 - ・太閤山住宅団地建設事務所 ☎0766(56)0221

●昭和60年度文部省教育モニター募集

- 文部省では、教育、学術、文化について、広く一般の方々から御意見や御要望をうかがうため、教育モニターを募集しています。
- モニター期間は2年、文部省が依頼する文書に回答していただくほか、文教行政に対する御意見、御要望を随時お送りいただきます。
- (1)応募資格 満20歳以上の日本国民の方。ただし教員以外の国または地方公共団体の公務員とこのモニター経験者は除きます。
- (2)締切り 2月23日(土)
- (3)応募方法 申し込み用紙は、県教育委員会総務課にあります。宛先を明記した返信用封筒を同封の上、請求してください。
- (4)請求先 〒930 富山市新総曲輪1の7富山県教育委員会総務課 ☎0764(31)4111内線260

●県立技術短期大学入学願書受付

- 昭和60年度入学生募集を次のとおり行います。
- (1)募集学科 機械科、農業機械科、応用数学科、衛生工学科、農学科、農林土木科
- (2)出願期間 昭和60年2月18日(月)～3月1日(金)消印有効
- (3)学力検査日 昭和60年3月13日(水)～14日(木)
- (4)合格発表 昭和60年3月20日(水)
- 詳しくは、県立技術短期大学教務課 ☎0766(56)2495)までお問い合わせください。

●高志会館の休館

教職員の福利厚生施設である高志会館(富山市千歳町)では、利用者の皆さんの御要望におこたえて、このたび新たにカルチャー施設を備えたコミュニティ施設に生まれ変わるようになりました。このため、次のとおり全館休館となっておりますので、ご了承下さい。

〈休館期間〉 昭和60年2月1日～昭和61年4月30日

〈営業再開予定〉 昭和61年5月1日

●河川におけるサケの採捕禁止

新巻として私たちの食生活でなじみ深いサケ(鮭)を河川で採捕することは、法律によって禁じられています。

これは、サケの資源の保護のため、海から川によって産卵するサケを守るものです。河川でサケを採捕できるのは、人工採卵・ふ化を行うため、特に知事の許可を受けた者だけとなっています。

無許可で採捕している者を発見したら、最寄りの警察署または県水産漁港課 ☎0764(31)4111内線584)へご連絡ください。

●県立近代美術館から

美との対話'85

— 新収蔵品を中心に —
会期 2月9日～4月10日

近年新たに収集した作品を中心に展示します

2月街頭献血日程

月日曜	場 所	時 間	月日曜	場 所	時 間
2/2(土)	富山駅前	10:00～16:00	2/13(水)	砺波市役所前	10:00～15:30
2(土)	高岡駅前	10:00～15:30	16(土)	魚津市サンプラザ前	10:00～15:30
3(日)	黒部市メルシー前	10:00～15:30	16(土)	富山駅前	10:00～16:00
7(木)	水見市役所前	10:00～15:30	17(日)	富山市中央通り前	10:00～16:00
9(土)	富山駅前	10:00～16:00	23(土)	富山駅前	10:00～16:00
9(土)	高岡駅前	10:00～15:30	23(土)	高岡駅前	10:00～15:30
10(日)	富山西武前	10:00～16:00	24(日)	高岡駅前	10:00～15:30

県政についてのご相談は県民相談室へ

県民相談室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎富山31-4111(代) 31-3131(県民電話)
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎高岡21-9411
魚津地方県民相談室	魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎魚津24-5311
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎砺波33-5151

県広報はあなたと県を結ぶパイプ役

- 富山県では、この「県広報とやま」のほかテレビ、新聞などの媒体を活用して、県の施策の紹介や暮らしの情報を提供しています。
- 〈テレビ広報〉
- KNB「こんにちは富山県です」
 - 毎週日曜日 午前8時～8時30分
 - 富山テレビ「110万人のひろば
 - クイズノフォーカスイン——」
 - 毎週日曜日 午前9時～9時30分
- 〈新聞広報〉
- 北日本、富山、読売、北陸中日
 - 毎月第2土曜日「県からのお知らせ」
 - 毎月最終土曜日「みんなの県政」
 - 朝日、毎日
 - 毎月第2、最終土曜日「県からのお知らせ」



水力発電と観光の町として知られる庄川町は、かつて飛騨や五箇山から切り出され、庄川に流された材木の集散地として栄えていました。昭和初期、ダムが建設され、流木産業は消滅しましたが、材木と町とのかかわりは挽物木地という素材で美しい伝統工芸品を生み出しました。幕末の頃、越後屋清次という挽物木地師が、魚津から庄川へ

移り住みました。庄川の豊富な材木に目を着けたからです。その後、地元の青年達も挽物技術を身につけ、県内外の漆器産地から受注して、大量に塗下木地を生産するようになりました。

庄川木地は、ロクロを使って作られる丸物木地で、茶盆、茶托、棗、皿、椀、酒器などの漆器下木地に使われています。主

な供給先は、県内では高岡、魚津、県外では山中、輪島、福井、新潟、高松、青森、秋田など。くるいが少なく、薄くて丈夫なことから、高い評価をうけていますが、その秘密は、十分な乾燥と仕上げ鉋、そして横木挽きにあります。

柄、櫟、槐、桑などの原木を横木に挽いてから半年から一年十分に自然乾燥します。その後荒挽きして火力乾燥、そして仕上げ挽きとなります。仕上げにはからかさ鉋と薄刃を使いますが、これが精妙な削りを生み出します。横木挽きとは原木を長い板にしてから使うことで、材料の歩留まりは悪くなりますが、盆や皿などの平物にする丈夫で美しい木目を持つ木地が生まれます。

一時はプラスチック製品に押されて衰退の道をたどっていましたが、最近では木製品もつやさしさやぬくもりが見直され、新たな需要が伸びてきました。昭和五十三年には、国の伝統的



巧みな鉋仕上げは、長い鍛練のため

八十名の職人たちが挽物木地を製造しています。使いこまれる程色と艶を増す木肌の味わいを生かして、白木の盆や皿、菓器、サラダボールなどの新しい製品も開発しています。

庄川挽物についてのお問い合わせは、庄川水記念公園内の特産品生産センター、木工新製品開発センター ☎〇七六三(三三)五六九六まで。



INTERNATIONAL YOUTH YEAR 1985

国際青年年



始めよう今、 見つめよう未来。

「参加」—— 青年が構成員の一人として社会に対する
Participation 関心やかかわりを深め、社会の中で積極
的に役割を遂行すること。

「平和」—— 青年が国際交流、国際協力を通して相互
Peace 理解を深め、平和に貢献すること。

「開発」—— 青年が自らの人格的成長をはぐくみ、個
Development 人の能力を高めるとともに、地域、国の
発展に貢献すること。